

# 令和7年 県内の火災概況（概数）

令和8年1月  
富山県消防課

## 1 火災発生状況

### （1）概要

令和7年の出火件数187件で、前年の192件に比べて5件減少し、出火率（人口1万人当たりの出火件数）は1.85となり、前年の1.88に比べて0.03ポイント減少した。また、県内で火災が1日当たり約0.51件発生している計算になる。

過去10年間の出火件数・出火率の推移については、以下のとおりである。

表1 月別出火件数

区分	月別出火件数												総出火件数	出火率	死者数
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月			
令和7年	11	8	24	30	13	12	21	16	15	6	14	17	187	1.85	15
令和6年	16	10	30	16	15	23	15	9	12	21	10	15	192	1.88	18
増減件数	△5	△2	△6	14	△2	△11	6	7	3	△15	4	2	△5	△0.03	△3
増減率(%)	△31.3	△20.0	△20.0	87.5	△13.3	△47.8	40.0	77.8	25.0	△71.4	40.0	13.3	△2.6	—	△16.7
令和5年	16	11	24	16	15	19	6	16	15	10	11	19	178	1.73	21
令和4年	19	8	13	12	16	13	10	8	14	16	9	16	154	1.48	16
令和3年	16	14	16	25	15	11	10	11	9	11	10	20	168	1.60	10
令和2年	14	11	12	21	18	16	21	16	11	9	13	10	172	1.63	14
令和元年	22	13	22	26	25	10	7	17	15	9	15	9	190	1.79	17
平成30年	13	17	14	17	15	9	11	23	12	13	10	16	170	1.59	13
平成29年	15	16	26	17	15	19	14	12	10	19	9	12	184	1.71	17
平成28年	11	16	26	23	23	12	13	17	9	16	10	19	195	1.81	14
平成27年	19	20	20	18	19	7	17	11	12	21	14	10	188	1.74	14

図-1 過去の出火件数・出火率の推移

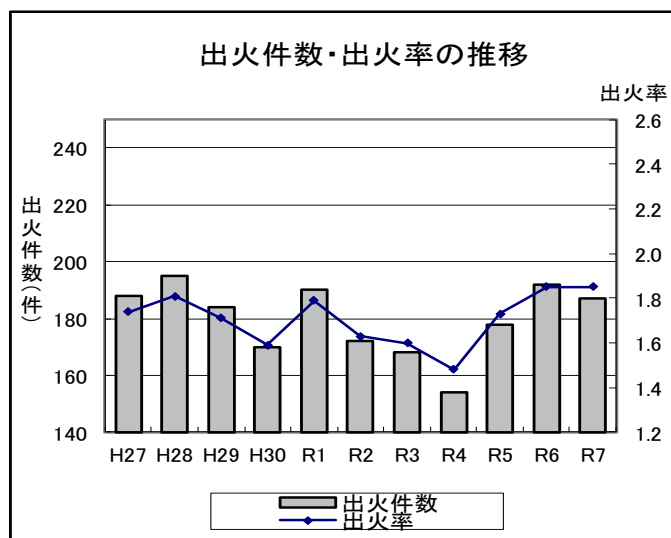
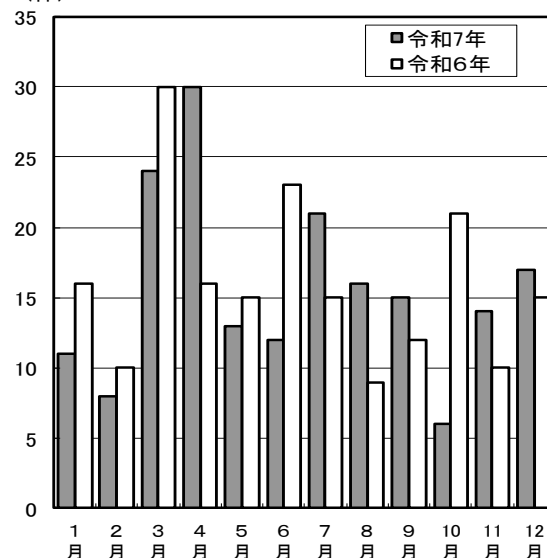


図-2 月別出火件数（令和7年、令和6年）  
（件）



## (2) 市町村別及び火災種別の出火件数

市町村別にみると、前年に比べ件数が増加しているのは7市町、減少しているのは6市町、前年と同数は2市村となっている。

火災種別にみると、建物火災128件（前年148件）、林野火災2件（同0件）、車両火災33件（同24件）、船舶火災0件（同1件）、その他火災24件（同19件）であり、航空機火災は発生しなかった。なお、前年と比べて増加した火災種別は、林野火災（+2件）、車両火災（+9件）、その他火災（+5件）だった。減少したのは、建物火災（△20件）、船舶火災（△1件）だった。

## 2 火災の実態

### (1) 主な出火原因 ※取扱注意

主な出火原因の第1位は、「たばこ」21件であり、以下「電気機器」11件、「こんろ」10件、「電灯配線」7件、「ストーブ」・「放火」各6件となっている。

表2 主な出火原因（「その他」、「不明・調査中」は除く）

令和7年 (出火件数187件)		令和6年 (出火件数192件)		令和5年 (出火件数178件)		令和4年 (出火件数154件)		令和3年 (出火件数168件)	
原因	件数	原因	件数	原因	件数	原因	件数	原因	件数
①たばこ	21	①電灯配線	20	①たばこ	15	①ストーブ	14	①電気機器	12
②電気機器	11	②電気機器	18	②放火	13	②たばこ	11	放火の疑い	12
③こんろ	10	③ストーブ	15	③電灯配線	12	放火	11	③火入れ	11
④電灯配線	7	④放火	14	④こんろ	10	④電灯配線	8	④たばこ	10
⑤ストーブ	6	こんろ	9	⑤電気機器	10	⑤電気装置	7	ストーブ	10
放火	6								

電気機器：電化製品の誤使用や故障等により火災につながったもの

電灯配線：電気コードやコンピューター配線の破損、たこ足配線等により火災につながったもの

配線器具：コンセントプラグやテーブルタップの劣化などにより火災につながったもの

※ 令和7年の出火原因は、1月～9月のものである。

### (2) 火災による死傷者数

火災による死者数は15人で、前年の18人に比べ3人減少となっている。

また、負傷者は30人で、前年の51人に比べ21人減少となっている。

表3 年齢層別死者数・負傷者数

区分	乳幼児 (0歳～5歳)	少年及び成人 (6歳～64歳)	高齢者 (65歳以上)	死者合計	負傷者
令和7年	0(0)	5(0)	10(1)	15(1)	30
令和6年	0(0)	3(3)	15(1)	18(4)	51
比較増減	0(0)	2(△3)	△5(0)	△3(△3)	△21

※（ ）書きは内数で放火自殺者

表4 男女別死者数

区 分	死 者 a + b		
		自殺者 a	逃げ遅れなど b
令和7年	15 (男9、女5、不明1)	1 (男1)	14 (男8、女5、不明1)
令和6年	18 (男13、女5)	4 (男3、女1)	14 (男10、女4)
比較増減	△3	△3	0